



学校通信

とうよう

第4号

令和7年7月1日
泉大津市立東陽中学校
校長 花見 明子

東陽校区小中一貫教育校 重点教育目標 「誰とでもつながる力」の育成
学校教育目標 自己成長と挑戦

泉大津市立東陽中学校ホームページ



1学期を振り返りましょう

気温が上昇し本格的な夏の暑さの到来です。こまめな水分補給で失われた潤いを取り戻しながら1学期最後の7月を充実させましょう。学習については期末テストの振り返りを中心に1学期に学んだことを定着させる努力が必要です。夏休みに入るまでに行うことが理想ですね。今、しっかりと自分の課題に取り組んで、夏休みは新しいこと+宿題に挑戦する期間にしましょう。

生徒の挑戦

今年度は学校教育目標をリニューアルし「自己成長と挑戦」を掲げてスタートしました。生徒はもちろん、教職員もそれに向かって様々なことに挑戦しているところです。

成長につながる主体性を伸ばす活動は多岐に渡りますが、その中の一つに全校生徒が関わる生徒会活動があります。今年度は毎週火曜日の生徒朝礼で様々な取り組みが提案され、興味深いイベントを行うなど、新しい挑戦が始まっています。そのほか、学習活動や学年行事、部活動でもそれぞれ取り組みが進められていて、皆さんの今後の成長が大変楽しみです。しかしながらの成長を自分自身ではかるのは大変難しくとまどいもあることでしょう。友だちが頑張っていることに気づいたら「いいね」と声をかけてあげてください。一生懸命挑戦する姿から教職員も刺激をもらって、大人も子どもも自分の目標に向かって進んでいく学校にしたいと思います。

3年間の集大成 3年生修学旅行

令和7年6月5日～7日、三年間の集大成として、長崎への修学旅行を実施しました。この三日間は貴重な経験となり、多くの学びが得られた旅となりました。



1日目：平和の意義を学ぶ

初日は、長崎平和公園を訪れました。まず「平和セレモニー」を行い、私たち一人ひとりが平和を願う思いを込めて、学校から持参した千羽鶴を奉納しました。長崎の歴史を学ぶ中で、平和の重みを実感し、未来に向けて何をすべきかを考えるよい機会となりました。その後、長崎原爆資料館を訪れ、原爆の恐ろしさやそれによって引き起こされた悲劇について学びました。多くの写真や資料が展示されており被爆者の証言を通じて、当時の人々がどれほどの苦しみを味わったのかを知ることができました。



2日目：長崎の魅力を探る

2日目は、市内フィールドワークを行い、長崎の歴史や文化を学ぶために様々な場所を訪れました。グラバー園や出島、眼鏡橋など、異国情緒あふれるスポットを巡りながら、長崎の国際的な背景を学ぶことができました。午後は「ハウステンボス」に向かいました。ここはヨーロッパの街並みを再現したテーマパークで、アトラクションや美しい庭園を楽しみました。夜はハウステンボス内のホテルに宿泊し、友人たちと共に過ごした時間は心に深く刻まれる思い出となりました。



3日目：自然や文化を満喫する体験活動

最終日は、九十九島や太宰府天満宮での体験活動に分かれて参加しました。九十九島は、数多くの小島から成り立つ美しい景観が特徴の場所で、自然の素晴らしさを体感することができました。大宰府天満宮では学業成就のお参りをしています。



修学旅行は、ただの観光旅行ではなく大切な学びの場。生活しているこの国の歴史や文化を理解し、未来に向けてどのように生きていくべきかを考えるきっかけとなりました。現在の国際情勢は各地域で緊張が続いており、安全保障に重大な影響を及ぼしています。国際社会全体で対話と解決策を模索する必要がありますが、私たちにできることは何かを念頭に置き、視野を広げることに努め、学びを深めて明るい未来を切り拓いていきましょう。